

小幡篤次郎 （英名、ダウソン） 英學者、實業家。天保十二年六月八日豊前國中津藩生れ、明治二十八年四月十六日歿（八四—一九〇五）。號箕田。藩醫進修館の學び、元治元年福澤諭吉の門に入りて英學を修めり。慶應二年塾頭、まことに幕府の開成所助教となる。明治十年歐米歴遊、十二年東京學士會會員、翌年文詢社幹事、二十二年慶應義塾塾長、三十五年貴族院議員。小幡甚三郎は實弟。

譯書の「テトヲクザイニル著」ト上木自由之論」（小幡篤）一名、明治六年十一月自版）は、出版の自由を論じた最初の單行書。他に「小學歴史階梯」（明治十九年五月自版、中込堂他發賣）、「小學歴史」（卷一・明治二十年一月十九日校正編・自版、金港堂發賣）等。「小幡篤次郎先生小傳」并小幡記念圖書館沿革概要」（大正十五年十一月一日大分・小幡記念圖書館編輯）に記ある。

